

令和5(2023)年度第1回みよし市行政評価委員会次第

と き 令和5(2023)年7月10日(月)

午後1時30分から

ところ 市役所 6階 601・602会議室

1 あいさつ

2 議 題

外部評価対象事務事業の選定について

(1) 外部評価対象候補事務事業一覧(評価希望事業)・・・・・・・・・・資料1

(2) 外部評価対象候補事務事業一覧(施策体系表)・・・・・・・・・・資料2

外部評価対象事務事業一覧(評価希望事業)

令和5(2023)年度 第1回行政評価委員会資料

資料1

番号	担当次長 (主管課)	事務 事業 番号	事務事業名	2次評価(内部評価)					
				今後の事業 の方向性	2次評価対象とした理由	事業の概要	令和4(2022)年度に実施した具体的な この事業のやり方、手順等	現状と課題	事業担当としての意向
1	教育部次長 (スポーツ課)	220307	スポーツ教室開催 事業	現状維持	<p>国が育成・普及する総合型地域スポーツクラブが、本市において3地区で設立され、スポーツ振興・地域交流に寄与した公益的な活動を行っている。</p> <p>クラブが児童を対象とした教室を開催しており、現状、市が主催する教室が安価なため、クラブ運営を圧迫することが懸念される。</p> <p>今後は、持続可能なクラブ推進を図るため、市が実施する事業を廃止し、クラブへ事業を委託する等の方向性について、外部の意見を聞きたい。</p>	<p>幼児の親子体操教室、幼児体育教室、スタンプ教室、成人スポーツ教室を実施する。</p>	<p>幼児の親子体操教室、幼児体育教室、スタンプ教室、成人スポーツ教室を前期、後期ともに実施した。応募者多数の場合は、初めて参加する人や前期申込者を優先とした抽選を行い、参加者を決定した。講座の最終日に参加者全員にアンケートを取り、次回の教室運営の検討資料とした。</p>	<p>市では、市民が運動習慣を身につけるきっかけづくりとして、運動やスポーツの教室を開催してきた。一方、地域におけるスポーツ推進のために活動している三好さんさんスポーツクラブでも、イベントや教室を開催しているが、施設使用料、講師等への費用弁償、募集受付等の事務費などの経費がかかることから参加費が高くなり、市と競合する教室等では参加費の安い市が主催する事業に偏る傾向がある。市が主催している運動やスポーツの教室を三好さんさんスポーツクラブに委託することを検討したが、現行の参加費では教室の開催はできない旨の回答を受けている。</p>	<p>市は総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、年間200万円の事業費を補助して活動を支援する立場にある。このため、内容が競合するものについてはクラブの活動を優先して市の主催事業は縮小とし、5歳児の幼児体育教室とスタンプ教室を休止する。一方、クラブと競合していない2,3歳児の親子体操教室、4歳児幼児体育教室、成人スポーツ教室は、引き続き市が主催で実施する形で整理したい。</p>

《表の見方》

外部評価対象候補事業として、令和4(2022)年度市民意識調査の結果、「令和4(2022)年度 満足度・重要度の散布図」(資料2-2 P.15)の「C」の領域にある取組分野のうち、特に満足度が低い事務事業に候補を絞りました。(観光・魅力発進、地域活力、市街地整備、土地利用、行政改革・行政評価(商業は該当事業なし))
また、今年度は各課で1つ以上事業を選定させていただきました。備考欄に「★」をつけたものが対象となります。

表中で、事務事業名等が網掛けしてある事務事業については、次の①及び②のいずれかに該当しており、評価の対象にそぐわない事務事業と考えられます。

網掛けのない事務事業の中から優先的に外部評価対象事務事業を選定していただきたいと考えています。ただし、網掛けの事務事業はあくまで評価の優先度が低いと考えられるものでありますので、対象候補としていただいても構いません。

表中の「備考」に表記されております①～②については、下記の説明のとおりです。

- ① 令和5(2023)年度当初予算のない事業
- ② 過去3年間に外部評価対象事業として選ばれた事業

※「今後の事業の方向性」欄は、「拡大」「改善」「維持」「縮小」「廃止・休止」の5段階で表示

	第2次みよし市総合計画基本計画		事務事業		所属	R5(2023)当初予算額(千円)	今後の事業方向性※1	コストの方向性	成果の方向性	事業概要	今後の事業の方向性、改革・改善案(四角枠は、各課が事業として選定した理由)	備考
	取組方針No	取組方針	事業No	事務事業名								
安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐむまち	11	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	1	児童館等維持管理事業	こども政策課	2,000	縮小	↑ 増加	↓ 減少	平成29(2017)年3月にみよし市公共施設等総合管理計画が策定され、その計画に基づき個別施設計画を策定した。特に老朽化が著しい児童館の長寿命化計画としてみよし市子育て支援施設個別施設計画を令和元(2019)年度に策定した。SDGsの取り組み：3、4	地区公共施設修繕等事業補助金は継続して実施していく。 事業の方向性について外部の意見を取り入れたい	★
			2	児童発達支援事業	保育課	8,833	拡大	↑ 増加	↑ 増加	・みよし市児童発達支援事業所「よつば」は定員20人で、心身に障がいのある児童又はその疑いがあり、療育の必要性が認められる概ね3歳から小学校就学前までの児童に日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練等を行う。 ・親子通園ルーム「ふたば」は、保健センターとの連携により、発達に心配のある概ね1歳から3歳までの就園前の乳幼児を対象に親子で通園し、心身の発達を促すとともに、親子同士の交流を深めてもらう。SDGsの取り組み：3、4	(1)「よつば」を明知保育園から市内中央部に移設する。 (2)市内保育園や幼稚園等に対する地域の児童発達支援を拡大していく。 (3)児童発達支援センターの設立を行う。 (4)医療的ケア児の対応のため看護師の配置を検討する。 事業の方向性について外部の意見を取り入れたい	②★
			3	発達支援教室事業	こども相談課	1,997	現状維持	→ 維持	→ 維持	幼児健診等事後教室(名称：のびのび教室)としてスタッフ(保健師・心理相談員・保育士等)が、児の発達や関わり方について保護者の相談に応じる。 「SDGsの取り組み：3」	適正人数で教室運営と相談に応じることができるように環境を整える。 児童発達支援センターの設立をはじめ、児童発達支援策の拡大が急務であり、外部委員の意見も聞きたいため。	★
心豊かな子どもを育てよう	12		1	教育支援事業	学校教育課	37,708	現状維持	→ 維持	→ 維持	児童の小学校入学前に身体面・知能面を検査し、客観的資料を基に一人ひとりを把握し、適正な就学・教育支援を図るため、就学予定の小学校で健康診断と知能検査を行う。 本市在住の肢体不自由児が豊田市立豊田特別支援学校へ就学するため、豊田市に応分の協力を支払う。 【SDGsの取り組み：3、4】	豊田特別支援学校協力金については、本市単独で養護学校を配置することは困難であるため、今後も豊田市に対して協力金を支払っていく。 事業の方向性について外部の意見を取り入れたい	★
			2	給食配送事業	学校給食センター	33,634	現状維持	→ 維持	→ 維持	給食を効率的かつ安定的に配送するため、給食配送業務を実施する。 「SDGsの取り組み：3、4、8、12」	引き続き、給食配送業務を実施し、給食を効率的かつ安定的に配送していく。 事業を統合するための意見を取り入れたい	★
文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			1	友好都市議員研修事業	議事課	363	現状維持	↑ 増加	→ 維持	友好都市(北海道士別市・長野県木曾町)を議員が訪問することにより、自己の政策形成能力を養い、市政の施策に寄与するとともに、相互の交流を図ることを目的とする。 「SDGsの取り組み：17」	今後も引き続き研修を実施し、友好都市との交流を深める。 事業の方向性について外部の意見を取り入れたい。	★
			2	文化事業委託事業	生涯学習推進課	5,087	現状維持	→ 維持	→ 維持	春の文化展、文化祭(秋)、公募美術展を文化協会に委託して実施している。 春の文化展 5月 文化祭 11月 公募美術展 12月 SDGsの取り組み：4、17	親子参加型の事業や生涯学習講座を通じて、文化協会の新たな会員の発掘に努めていく。 事業を統合したいので、意見を伺いたい。	★
			3	有形文化財保存活動支援事業	歴史民俗資料館	930	現状維持	→ 維持	→ 維持	①市指定有形文化財の所有者及び管理者(以下「文化財管理者」という)と協働して、これを良好な状態で保存するため、文化財管理者の活動を支援する。 ②昭和56(1981)年に山車3台(うち1台は平成16(2004)年11月解除)、昭和58(1983)年11月に金比羅宮、平成23(2011)年8月に石川家住宅が、それぞれ有形文化財に指定された。 ③平成27(2015)年12月13日にあいち山車まつり日本一協議会が設立された。 SDGsの取り組み：3、4、11	①文化財管理者が、良好な状態で維持保存する取組を継続することが、当該文化財の保存につながるものであり、現在の水準を維持する。 ②未指定の文化財も含めた、市内の文化財全般の活用を視野に入れた保存計画の策定を検討する必要がある。 物価高騰などに伴う補助の拡大を求める声もあり、意見を聞きたい。	★
健康で生き生きと暮らせるまち	21	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	1	在日外国人福祉給付金支給事業	長寿介護課	50	現状維持	→ 維持	→ 維持	日本に在留する外国人で、国民年金の給付を受けることができないものに対して、在日外国人高齢者福祉給付金を支給することにより、当該外国人の福祉の増進を図ることを目的とする。 国民年金に加入することができなかった当該外国人に、月額10,000円を給付する。 【SDGsの取組：3】	今後も継続して事業実施予定であるが、対象者が100歳になった時点で事業廃止する方針で考えている。 令和8年度をもって事業廃止する方針であるがそのことについて、外部の意見も取り入れたい。	★
			22	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	1	栄養改善事業	保険健康課	535	現状維持	↓ 減少	→ 維持	地域における生涯を通じた食育推進の担い手として、食生活健康推進員の養成及び育成を行い、地域の健康づくり活動を進める。 また、地域ボランティア組織「みよし市食生活健康推進委員会」に補助金を交付し、健全な食生活を実践することができる食育活動の取り組みに対し支援を行う。 「SDGsの取り組み：3」
安全で安心して暮らせるまち	31	地域で支え合い、災害に強いまちをつくらう	1	防災意識普及啓発事業	防災安全課	8,493	現状維持	↓ 減少	→ 維持	東海地震や東南海地震の発生が危惧される中で、市民の防災への関心はまだ低い。 そのため、防災マップの作成、防災講演会、防災リーダー養成講座を開催し、市民自らが自分の身は自分で守る意識を高めるための啓発を行う。 毎年度およそ2,000世帯の増加が見込まれるため防災マップを増刷する。 SDGsの取り組み：10、11、17	防災に関心がなく、市の啓発活動にも関心を示さない市民に対して防災意識を高める方法を探る必要がある。 令和5(2023)年度より名称を「自助・共助力向上事業」に変更する。 防災に関する意識を高め、各家庭における自助力の向上を図るために、近年は毎年マップ等を作成し全戸配布している。	★

	第2次みよし市総合計画基本計画		事務事業		所属	R5(2023)当初予算額(千円)	今後の事業方向性※1	コストの方向性	成果の方向性	事業概要	今後の事業の方向性、改革・改善案(四角枠は、各課が事業として選定した理由)	備考
	取組方針No	取組方針	事業No	事務事業名								
			2	住宅・建築物安全ストック形成事業	都市計画課	7,039	現状維持	→ 維持	→ 維持	昭和56(1981)年5月以前の旧耐震基準で建築された建築物については、大規模な地震による倒壊の危険性が高いため、耐震診断及び耐震改修工事等について補助金を交付し、市全体の耐震化を促進する。 また、既存建築物に露出して吹き付けられている建材のアスベストについて、含有調査及び除去費用に対して補助金を交付する。 「SDGsの取組：9, 11, 13」	住宅以外の一般建築物(店舗・幼稚園など)の施設に対しても耐震化を促進するため、補助対象をさらに広げる必要がある。 事業の方向性について外部の意見を取り入れたい	★
魅力と活力があふれるまち	41	工業のさらなる成長を支えよう	1	商工業活性化補助事業	産業振興課	30,000	改善	→ 維持	↑ 増加	市の経済振興と市民生活の向上を図るには、市内において商工業の活性化を推進することが不可欠であり、そのためには、市内の商工業者による積極的な事業への取組みに期待する部分が多い。そこで、市としては、そのような商工業活性化事業に取組む商工業者に対し、補助金を交付し、その支援を行うものとする。 「SDGsの取組：8, 9」	今後も継続して商工業の活性化のため、補助制度を実施する。 補助事業や補助率の検討を行い、補助金要綱の改正を行う。 市内の中小企業が商工業の振興のために今後も広く活用することになる当補助事業について、より適切に、かつより商工業の発展に資するものとするために、どのように改善していくのよいか、外部の意見を取り入れたい。	★
	42	まちのにぎわいや魅力を生み出そう	1	市民活動センター管理運営事業	協働推進課	18,808	現状維持	↓ 減少	→ 維持	分庁舎「市民活動センター」の管理運営 1階 (1)市民活動サポートセンター (2)多文化共生センター (3)愛知県衣浦東部保健所みよし駐在 (4)倉庫 2階 (1)ふたば (2)会議室 「SDGsの取組：4, 10, 17」	市民活動団体の活動の支援と推進の観点から、引き続き市民活動センターとして管理運営する。	
			2	明知下ふるとふれあい広場管理事業	協働推進課	329	現状維持	→ 維持	→ 維持	みよし地域ふるさとふれあい施設条例第4条規定に基づき、明知下ふるとふれあい広場の維持管理を行っている。 「SDGsの取組：3, 17」	公の施設としての適切な管理が必要となる。 平成31(2019)年4月に基本協定を締結、今後も年度協定に基づき指定管理を行っていく。 令和5(2023)年度が基本協定の最終年度のため、令和6(2024)年度からの基本協定の締結を行っていく。	
			3	行政区活動事業	協働推進課	116,922	現状維持	→ 維持	→ 維持	行政区の自治活動の育成及び円滑な活動の推進を図るため、行政区一括交付金、行政区等運営費補助金及び地区公共施設修繕事業補助金などの交付や区長会等を開催することで行政区等の支援を実施する。 「SDGsの取組：3, 7, 10, 11, 14, 15, 16, 17」	補助金の見直しにより、行政区活動事業補助金の一部を行政区一括交付金へ統合を行ったが、今後も今ある一括交付金制度を行政区の自主的な事業や活動に対して、柔軟に対応できる制度に見直しを続ける必要がある。	
			4	市民憲章推進事務	協働推進課	166	現状維持	→ 維持	→ 維持	市民憲章の普及啓発として、町民憲章策定(昭和50(1975)年3月)とともに事業化されてきた。市民憲章推進会議による、啓発と憲章の実施。 「SDGsの取組：3, 4, 5, 8, 10, 13, 14, 15, 16, 17」	市内中学生との協働により得たアイデアを基に、みよし市民憲章推進会議における意見を踏まえ、新たな啓発品の選定や周知方法について検討を行う。 市民憲章の周知に向けた方向性について外部の意見を聞きたい。	★
			5	コミュニティ広場管理運営事業	協働推進課	30,249	現状維持	↑ 増加	→ 維持	スポーツや地区コミュニティ活動を通じた市民の健康と体力づくりの場、地域の交流と連携を深める拠点として広く市民や地域に利用され、利用者が安全かつ快適に使用できるよう施設環境整備の維持管理をする。 「SDGsの取組：3, 17」	各地区コミュニティ広場は、設置から相当年数経過しており老朽化がみられるため改修等が必要であり、今後も市が管理する施設として適正な維持管理を行っていく。 また、公共施設等の総合管理計画の見直しに伴いコミュニティ広場の施設としての位置づけを確認する必要がある。	
			6	地区コミュニティ活動推進事業	協働推進課	3,052	現状維持	→ 維持	→ 維持	平成24(2012)年度に地区コミュニティを6地区から8地区へ小学校単位に再編したことにより、西部と南部地区コミュニティ以外の6地区のコミュニティは、新設又は構成行政区が変更されたこととなった。 コミュニティ推進協議会による地域活動の展開を視野に、コミュニティリーダーの育成とコミュニティ事業への活動補助を中心に事業展開を図っている。 「SDGsの取組：3, 11, 17」	地域自治制度のあり方を検討する中で、第一段階(短期目標)の学区とコミュニティの同一が実現したことにより、第二段階(中期目標)として小学校区単位というスケールメリットを活かした地域コミュニティによる協働によるまちづくりに向けた事業展開の可能性について検討する。	
			7	地区拠点施設整備事業	協働推進課	0	改善	↑ 増加	↑ 増加	行政区の枠を越えた地区拠点施設を、おおよし地域、なかよし地域、みなよし地域、きたよし地域を単位として整備する。 「SDGsの取組：3, 7, 10, 11, 17」	将来を見越したより利便性の高い施設を整備するために、学識経験者や利用者等の意見を聞き、利便性の高い施設になるようみよし市地区拠点施設整備協議会で検討をしていく。 《みなよし地域》 R2(2020)：ワークショップ R3(2021)～R4(2022)：基本設計及び実施設計 R5(2023)～R6(2024)：建設工事	①
			8	おおよし交流センター管理運営事業	協働推進課	14,371	現状維持	→ 維持	→ 維持	地域の公益活動の拠点となる行政区の範囲を越えた市民活動施設として、おおよし交流センターを管理運営していく。 「SDGsの取組：3, 7, 11, 17」	管理運営について、地域活動団体の代表などから意見を伺い、管理運営の方針を検討する必要がある。	
			9	観光協会補助事業	産業振興課	0	統合	↑ 増加	→ 維持	観光事業団体への助成を行うことにより、市の観光事業の推進を図る。 伝統ある祭りや新しい祭りを充実させ、観光イメージの向上と定着を図る。 「SDGsの取組：17」	三好大提灯まつりで掲出される大提灯の大きさが世界記録に認定された。観光資源として有効的に活用することで、地域の活性化や市の認知度向上につなげる。 みよしの魅力をPRし、企業に対し観光事業への更なる理解、協力を求めていく。 また、三好池まつりについては、協賛席の設置を検討していく。 令和5(2023)年より観光総務課と統合する。 265・観光振興事業(旧・観光総務課)	①
		10	観光振興事業	産業振興課	71,724	改善	→ 維持	→ 維持	みよし市観光行政に係る事務費 ・愛知県観光協会への負担金 ・観光事業関連旅費 ・観光事業に要する機器の維持管理費 ・西三河観光協議会への負担金 「SDGsの取組：17」	引き続き、市内外への広報や観光資料の管理を行い、県観光協会や西三河市町との連携を図り、みよしの観光について、既存の魅力を掘り起こしを含めてPRしていく。 西三河10市町が西三河地域の観光を効果的に発信していくため、共同で観光情報発信サイトを運営し、観光事業を広域的、一体的に実施していく。 令和5(2023)年より、観光協会補助事業と統合する。		

取組方針 No	第2次みよし市総合計画基本計画		事務事業		所属	R5(2023)当初予算額(千円)	今後の事業方向性※1	コストの方向性	成果の方向性	事業概要	今後の事業の方向性、改革・改善案(四角枠は、各課が事業として選定した理由)	備考		
	取組方針	事業 No	事務事業名	事務事業名										
		11	ビジターセンター管理事業	産業振興課	3,026	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	市の北の玄関口である「三好ヶ丘駅」駅前の活性化とにぎわいの創出を目的に、みよし市ビジターセンターをカリヨンハウス1階に設置し、本市を訪れた方や市民に対し本市の産業や観光をPRするとともに、市民ギャラリーとして開放することで市民交流の場を提供する。「SDGsの取組：17」	ビジターセンター単独での利活用検討以外にも、カリヨンハウスもしくは駅前再構築としての在り方として検討が必要	②		
43	地域の農業を守り、次代につなげよう	1	農業用低圧ポンプ運営補助事業	産業振興課分室	2,196	統合	→ 維持	→ 維持	→ 維持	みよし市内におけるポンプ運転に掛る費用に対して補助を行う ポンプ場 10箇所 ・土地改良事業(県費) 用水機械維持管理事業 県費30%・市費40%・地元30% みよし市土地改良事業等補助金交付要綱 第6条(土地改良事業・県費(6)) 「SDGsの取組：2」	農業経営の安定のために、現状の農業支援を継続する ②事業を統合するための意見を取り入れたい。(土地改良補助事業と統合)	★		
51	自然環境を守り未来へつなぐまち 緑を守り育て、まちを美しくしよう	1	緑化指定地区保全事業	公園緑地課	1,225	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全を目的に、行政区主催による樹木保全活動を支援する。 要綱改正により報奨金を改正した。 緑化指定面積×25円/m ² 「SDGsの取組：15, 17」	市の自然環境の保全を図るためには、各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全が必要となるため、今後も本事業を継続し、緑地保全に努めたい。 事業を統廃合するための意見を取り入れたい	★		
61	快適で暮らしやすいまち 生活の基盤が整ったまちをつくらう	1	地籍調査事業	道路河川課	9,858	現状維持	↓ 減少	→ 維持	→ 維持	土地の正しい位置や形状などの調査を行い現地調査で確認した境界標識の測量を実施。現状に合った地籍図及び地籍簿を作成のうえ、愛知県知事の認証を受け、法務局備付けの地図と登記事項の修正を行う。 また、土地区画整理事業、土地改良事業等の国土調査法第19条第5項の指定を受けた区域と併せて成果を数値情報化し成果の交付を行う。 「SDGsの取組：11」	・地籍調査事業の成果は、土地利用に関する諸計画の立案や策定、また、公共事業に伴う用地買収・用地確認などの基礎資料として広範囲に利用されている。 ・地籍調査が完了した地区については、災害等により現地の境界杭が消失した場合でも、正確に復元することができ、復旧・復興事業の実施を速やかに着手することができるため、今後も継続して地籍調査事業を進めていく。			
		2	都市計画決定事務	都市計画課	3,773	現状維持	↓ 減少	→ 維持	→ 維持	市長の諮問に応じ都市計画に関する事項について調査審議を行う。 また、愛知県の都市計画に関する事項について調査審議を行う。「SDGsの取組：9, 11, 13, 15」	一定の成果が得られているため、継続して実施していく。			
		3	都市計画基本図作成事業	都市計画課	3,605	現状維持	↓ 減少	→ 維持	→ 維持	都市計画基本図の作成 都市計画図の印刷 ・都市計画図(1/10,000・1/25,000) ・白図(1/10,000・1/25,000) 「SDGsの取組：11」	地理情報システム(GIS)が導入され、新たな地図利用業務への展開や住民に向けた情報発信等共有データの広域的活用を図る。 都市計画の変更や著しく変化のあった箇所等について適宜一部修正を実施する。			
		4	都市計画基礎調査事業	都市計画課	3,500	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	都市計画法第6条に基づき、県が都市計画に関する基礎調査を行うため、市町村は資料の提出や必要な協力をを行う。 「SDGsの取組：11, 15」	県都市計画基礎調査要綱に基づき、現状及び将来の見通しについての各種調査を行うもので、都市計画行政の指針とする。			
		5	まちづくり土地利用条例手続事務	都市計画課	121	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	まちづくり土地利用条例に基づく小規模開発事業の手続き及び特定開発事業の手続・基準の審査等を行い、必要な助言・勧告及び行政命令等を行なう。 まちづくり審議会 委員5名(弁護士、大学教授) 「SDGsの取組：11, 15」	一定の成果が得られているため、継続して実施していく。			
62	便利で快適な住環境をつくらう	1	区画整理指導・支援事務	公園緑地課	26	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	土地区画整理組合及び準備委員会に対し、指導・支援を行う。 「SDGsの取組：11」	三好中部特定土地区画整理事業は、平成27(2015)年4月に仮換地指定が行われ、平成27(2015)年度より工事等本格的に事業推進されており、令和5年3月に解散認可となった。土地区画整理事業が未実施の地区についても、事業推進に向けて市としても指導・支援を行っていく。			
		2	地区計画区域内施設整備事業	道路河川課	141,813	現状維持	→ 維持	↑ 増加	→ 維持	→ 増加	三好中島地区計画 地区施設整備事業 対象地区施設：調整池 「SDGsの取組：9, 11, 12, 13」	調整池築造工事に着手し、早期に浸水被害の防止を図る。		
73	まちづくりの進め方 効果的・効率的で安定した行財政運営	1	行政改革推進事務	企画政策課	232	現状維持	↓ 減少	→ 維持	→ 維持	→ 維持	本市の行政改革の基本的な方針である「行政改革大綱」に基づき、効果的で効率的な行政運営をするため、行政改革を推進する。 「SDGsの取組：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17」	職員一人ひとりが、市民の視点に立ち、コスト意識と成果志向に徹して職務を遂行する風土を醸成し、職員の意識改革を高める。		
		2	行政評価システム事業	企画政策課	572	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	行政評価実施要綱に定める実施方針に基づき、事務事業評価や施策評価を実施することにより、Plan(計画)→Do(実施)→Check(評価)→Action(改善)のマネジメントサイクルを確立し、効果的・効率的で安定した行財政運営を推進する。 「SDGsの取組：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17」	効果的・効率的で安定した行財政運営を推進するため、今後も継続して事業を実施する。		
		3	電子自治体基盤管理事業	デジタル推進室	29,429	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	地方公共団体間相互のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用等を図ることにより、各地方公共団体と国の各府庁等、市民との間の情報交換手段の確保のための基盤とすることを目的として運営する総合行政ネットワーク(LGWAN)及び庁内ネットワークを安定的に運用する。 SDGsの取組：8, 9	730203あいち電子自治体推進協議会システム運用事業を令和4(2022)年度から統合。マイナンバー制度等の運用に必要なセキュリティや信頼性を確保しつつ、基盤の機能性及び拡張性を強化し、安定し利用しやすいサービス提供が継続できるネットワーク基盤の構築を行う。		
		4	庁内統合型GIS整備事業	都市計画課	2,175	現状維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	統合型GISの活用により、質の高い行政サービスの実現、業務の効率化・高度化、新たな地図利用業務への展開や共有データの広域的活用を実現させる。 「SDGsの取組：9, 11」	統合型GISの活用により、質の高い行政サービスの実現、業務の効率化・高度化、新たな地図利用業務への展開や共有データの広域的活用を実現させる。 また、公開型GISの活用により、蓄積・管理された情報を地図上に展開して住民に公開することで、行政と住民との双方向のコミュニケーションを実現する。		
		5	ICT推進事業	デジタル推進室	32,945	拡大	↑ 増加	→ 維持	→ 維持	→ 維持	→ 維持	様々なICT技術を活用し情報を効率的に処理し、庁内全体の事務負担を軽減する。 SDGsの取組：8, 9	令和4(2022)年度に策定した、行政手続オンライン方針により電子申請を、デジタル人材育成計画により人材育成を進める。デジタルツールの活用は、各課にデジタル専門員を配置し、集中的に育成し、より専門的な知識が必要となるkintone、RPAは専門業者と伴走型支援することで各課の積極的な活用を推進する。	
		6	ふるさと納税返礼品PR推進事業	財政課	28,522	現状維持	→ 維持	↑ 増加	→ 維持	→ 増加	→ 増加	ふるさと納税制度による返礼品の拡充及びインターネットによる寄附の利用促進のためのポータルサイトを活用してふるさと納税をPRしていく。 「SDGsの取組：9, 17」	・新たな返礼品を開発していく。 ・新たなポータルサイトを通し、みよし市にふるさと納税をしていただけるようPR媒体を増やしていく。 事業の方向性について、外部の意見を取り入れたい	★ ②

取組方針 No	第2次みよし市総合計画基本計画		事務事業		所属	R5(2023)当初予算額(千円)	今後の事業方向性※1	コストの方向性	成果の方向性	事業概要	今後の事業の方向性、改革・改善案(四角枠は、各課が事業として選定した理由)	備考
	取組方針	事業 No	事務事業名	事務事業名								
		7	広報みよし発行事業	秘書広報課		13,993	改善	↑ 増加	↑ 増加	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1日に広報紙を発行し、全世帯へ配布。 全ページカラー印刷 DTP(Desk Top Publishing)により職員が版下データまでを作成し、印刷製本を発注している。 発行した広報を多言語に対応した翻訳機能付きアプリを活用してより多くの市民に情報を提供する。 SDGsの取り組み：17	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙の内容や紙面構成を工夫し、文書表現やレイアウト力の技術向上を図る。 インターネットを活用した広報活動をより充実させる必要がある。また多文化共生社会における外国人向けの市政情報を翻訳して、多くの情報を提供することが必要である。 紙媒体だけでなく、SNSなどを利用した電子媒体での情報発信を充実させる必要がある。 広報紙配布業務の民間委託を検討する必要がある。 	★
		8	職員研修事業	人事課		8,145	拡大	→ 維持	↑ 増加	【職員研修体系】 1 一般研修(階層別、管理職、体験研修) 2 特別研修(専門、一般教養、人事評価、視察、会計事務研修) 3 派遣研修(自治大学校、市町村アカデミー、民間等団体主催、実務研修生等派遣研修) 4 自主研修(自主研究活動助成、通信教育助成) 5 職場研修(OJT) 「SDGsの取組 5、8、9」	<ul style="list-style-type: none"> これからのまちづくりに求められる職員を育成するために、みよし市人材育成基本方針に基づき、職員の職位・職務に応じた研修を計画・実施していく。 市主催研修での内部講師育成のために有効な研修メニューもさらに充実させていく。なかでも、市民の思いや希望を形にできる職員を育成するために、政策形成能力研修について強化していく。 	★
		9	個人・法人市民税課税事務	税務課		27,331	現状維持	→ 維持	→ 維持	【個人市民税】 毎年1月1日現在、みよし市に在住し、前年所得のある人に対し、個人住民税を賦課する。 【法人市民税】 みよし市内に事業所を有する法人の申告納付に基づき法人市民税を賦課する。 【SDGsの取組】17	<ul style="list-style-type: none"> 毎年実施される税制改正に対して確実に対応して適正な課税を行う。 公正な課税の実施によりSDGsターゲット「17.14 持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する」につながる。 	★
		10	滞納整理事業	納税課		7,114	現状維持	↑ 増加	→ 維持	市税を納期限までに納付しない滞納者に対し、滞納整理を行うとともに、納付意思の希薄な滞納者等に対しては、滞納処分を実施する。 「SDGsの取組：17」	<ul style="list-style-type: none"> 転出・転居の手続きで来庁する滞納者に、未納税があればその場で対応する。 また、個人市県民税のうち給与所得者に対しては、普通徴収から特別徴収への切り替えを推奨する。 早期の催告や財産調査、納付相談や差押などを行い、高額滞納とならないよう滞納管理を徹底する。 令和4(2022)年度から愛知尾三地区滞納整理機構を設立し、豊明市、日進市、東郷町と連携を密にし、悪質で納付意思の希薄な滞納者に対して滞納処分を行い、税の公平性を確保する。 	★
その他	その他(体系外)	1	政策調査研究事務	企画政策課		1,561	現状維持	→ 維持	→ 維持	時事通信社のインターネット情報行政サービス「iJAMP」や各行政情報誌等を通じて、政府及び都道府県、全国市町村のまちづくりに関する情報を入手し、本市のまちづくりに役立てる。 「SDGsの取組：8,9,11,17」	<ul style="list-style-type: none"> 今後の市の政策を検討するうえで必要なため継続して実施する。 	★
		2	表彰事務	秘書広報課		172	現状維持	→ 維持	→ 維持	市表彰者を決定するため、表彰審査委員会を開催する。また、叙位・叙勲の事務や愛知県表彰条例に基づく表彰者の推薦等の事務を行う。 「SDGsの取組：16」	<ul style="list-style-type: none"> 表彰要件に変更がないため、引き続き、表彰事務を進めていく。 	★
		3	文化の日記念式典事業	秘書広報課		1,656	統合	→ 維持	→ 維持	毎年11月初旬に「文化の日記念式典」を開催し、市政の発展や住民の福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方をに対して表彰を行う。 「SDGsの取組：11」	<ul style="list-style-type: none"> 今後、「表彰事務」と統合を予定。 	★
		4	新年あいさつ会事業	総務課		122	現状維持	→ 維持	→ 維持	新年を迎えるにあたり新年あいさつ会を開催する。 「SDGsの取組：12」	<ul style="list-style-type: none"> 新年を迎え一堂に会する場として今後も継続して提供していく。 	★
		5	戦没者追悼式開催事業	福祉課		802	現状維持	→ 維持	→ 維持	本市には、330柱の英霊があり、これらの英霊に対し、追悼の誠を捧げ、今日の平和を恒久的なものとして、後世そして若き世代に継承していくため、「平和の式典」として、追悼式を挙げる。 「SDGsの取組：17」	<ul style="list-style-type: none"> 英霊に対する追悼と恒久平和の啓発のため、式典の内容等を見直しつづ継続実施していく。 	★
		6	狂犬病予防事業	生活環境課		1,670	現状維持	↓ 減少	↑ 増加	<ul style="list-style-type: none"> 狂犬病予防法に基づき下記の事務を実施する。 ①犬の登録事務 ②犬の鑑札再交付事務 ③狂犬病予防注射済票の交付事務 ④狂犬病予防注射済票の再交付事務 ⑤犬登録管理システムの管理 「SDGsの取組：3」	<ul style="list-style-type: none"> 犬の適正管理により、狂犬病予防注射接種率の向上を図る。 令和4(2022)年6月1日より、犬猫等販売業者については犬又は猫へマイクロチップの装着義務化。一般の飼い主等は努力義務。 令和5(2023)年度から鳥獣捕獲等許可事務及び犬・猫避妊等手術費補助事業と統合し、名称を動物愛護管理事業とする。 	★
		7	相談事業	市民課		3,718	改善	→ 維持	→ 維持	市内在住の住民を対象に、悩みごと、心配ごとなどの解消や軽減ができるよう、専門家による助言や専門機関への案内等を行うことで、安心して豊かな生活環境の実現を目的として実施する。保育園・小中学校や地域住民を対象に、人権啓発事業を実施する。 SDGsの取組：1,5,8,10,16,17	<ul style="list-style-type: none"> 法律相談のキャンセル待ち解消、最近増えている相続税、贈与税などの相談に対応するため、特設法律相談を令和4(2022)年度から増設したが、今後もニーズに合わせた相談事業の検討が必要である。 広報みよしに連載している「人権コーナー」を元にリーフレットを作成し市内の公共施設への設置、学校に配布することで人権啓発を推進する。相談の多様化に対応するため、国が開発を予定しているインターネットで行政相談を受け付けるための専用サイトを積極的に活用できるよう調整する。 	★
		8	土木積算システム維持管理事業	道路河川課		1,922	現状維持	→ 維持	→ 維持	土木積算システム維持管理 事務費 旅費 需用費 負担金 「SDGsの取組：8,9,10,11,12」	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県の積算システムを使用し、適正な積算を行う。 	★

1. 調査の概要

■調査目的

第2次みよし市総合計画の基本計画が令和5（2023）年度に中間年を迎えるにあたり、本市が実施している取組に対する市民の満足度や重要度、これからのまちづくりに対する市民の意識を把握し、後期基本計画の検討にあたっての基礎資料とすることを目的として、市民アンケートを実施しました。

■調査対象

18歳以上の市民から無作為に2,500人を抽出

■調査方法

郵送による配布・回収（インターネット回答も併用）

調査票配布後に礼状兼督促状を送付

■調査期間

令和4（2022）年10月24日（月）～11月15日（火）

※インターネット回答は11月30日（水）まで

■回収状況

配布数	回収数		回収率	
2,500	1,121		44.8%	
	内訳			
		郵送	761	30.4%
		インターネット	360	14.4%

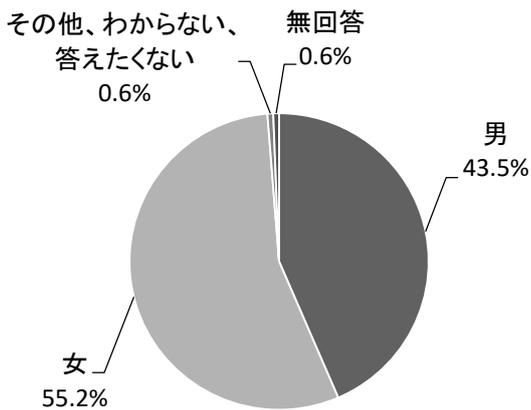
■調査項目

- ①定住に関する意識について
- ②取組の満足度及び重要度について
- ③今後のまちづくりに対するニーズについて
- ④まちづくりへの参加について
- ⑤その他について

2. 回答者の属性

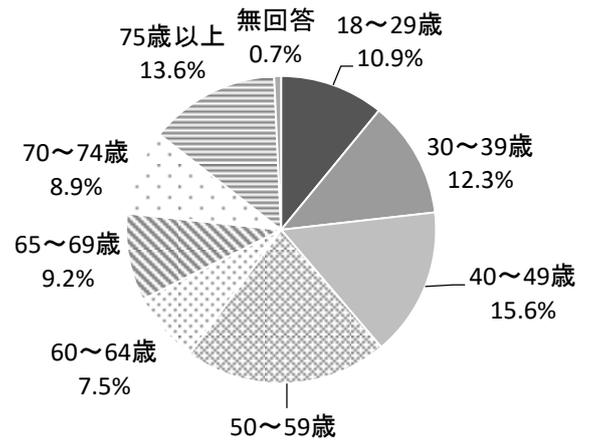
- 性別は、男性43.5%、女性55.2%と女性の割合が高くなっています。
- 年代別では、50歳代、40歳代の占める割合が比較的高くなっています。
- 居住地域は、おおよし地域が39.0%、きたよし地域が12.7%、なかよし地域が35.8%、みなよし地域が11.9%となっています。
- 居住年数は、20年以上である人が62.5%と6割以上を占めています。

<性別>



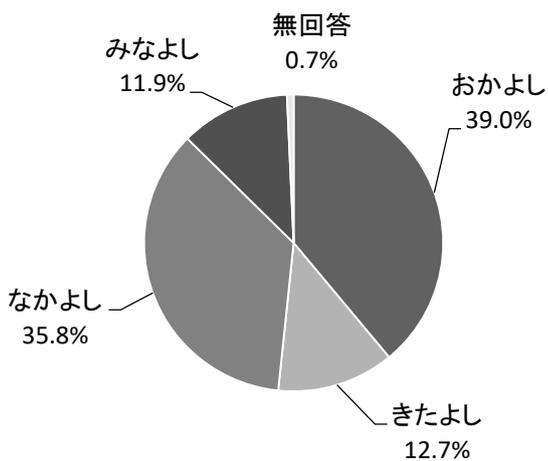
回答者数:1,121

<年代>



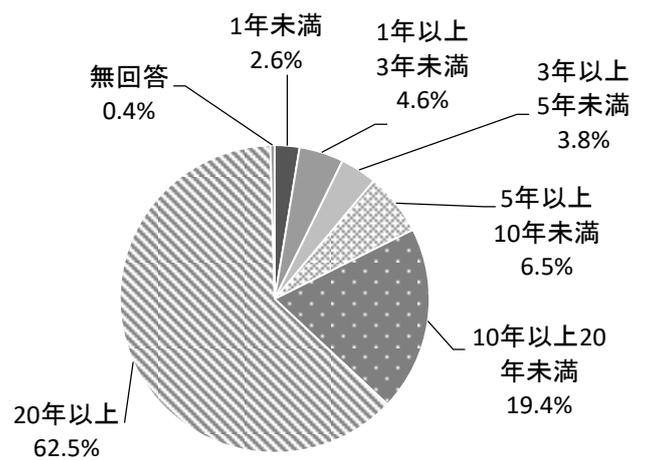
回答者数:1,121

<居住地域>



回答者数:1,121

<居住年数>



回答者数:1,121

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、集計値の合計は必ずしも100とならない場合があります(以下、同)。

3. 調査結果

(1) みよし市の住みよさ

①みよし市の住みやすさ

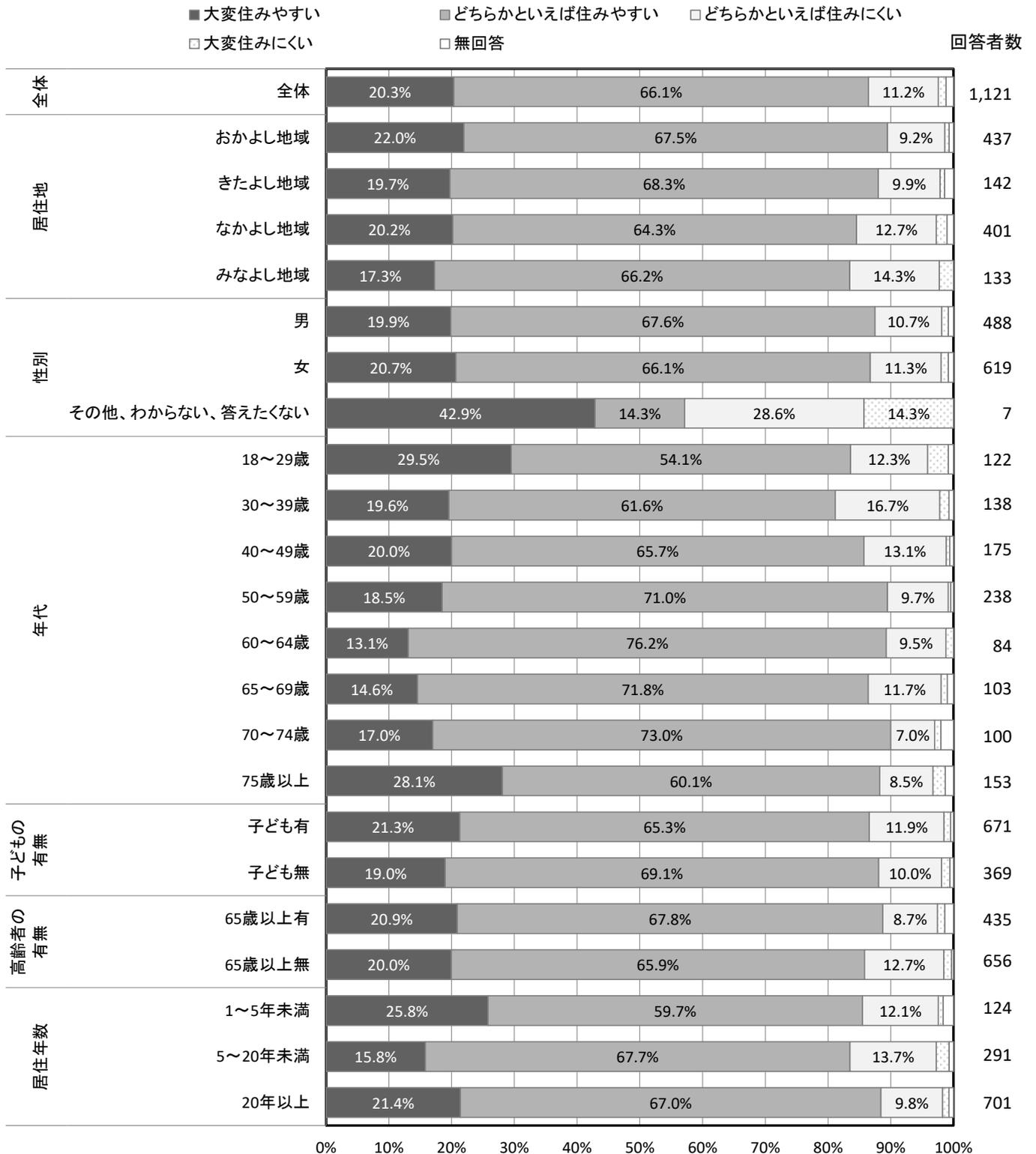
質問 あなたはみよし市が住みやすい市だと思いますか。(1つに○)

- みよし市が「大変住みやすい」と答えた人は、全体で20.3%を占めています。「どちらかといえば住みやすい」と答えた66.1%を合わせると、86.4%がみよし市は住みやすい市であるとしています。
- 一方、「大変住みにくい」は1.2%で、「どちらかといえば住みにくい」と答えた11.2%と合わせても、みよし市を住みにくい市であると感じている人は12.4%にとどまっています。
- 居住地別で見ると、おおよし地域において、「大変住みやすい」と答えた人の割合が22.0%と最も高くなっています。
- 年代別で見ると、18～29歳において、「大変住みやすい」と答えた人の割合が最も高く、29.5%となっています。
- 居住年数別で見ると、居住年数1～5年未満において、「大変住みやすい」と答えた人の割合が25.8%と最も高くなっています。

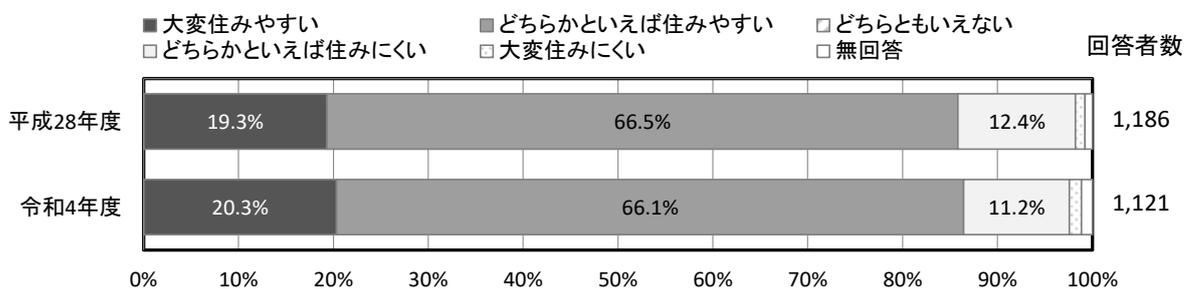
【前回の結果との比較】

- 前回（平成28年度）と比べ、「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた回答の割合が0.6ポイントと若干高くなっています。

＜みよし市の住みやすさ＞



■前回の結果との比較



②住みやすいと思う理由、住みにくいと思う理由

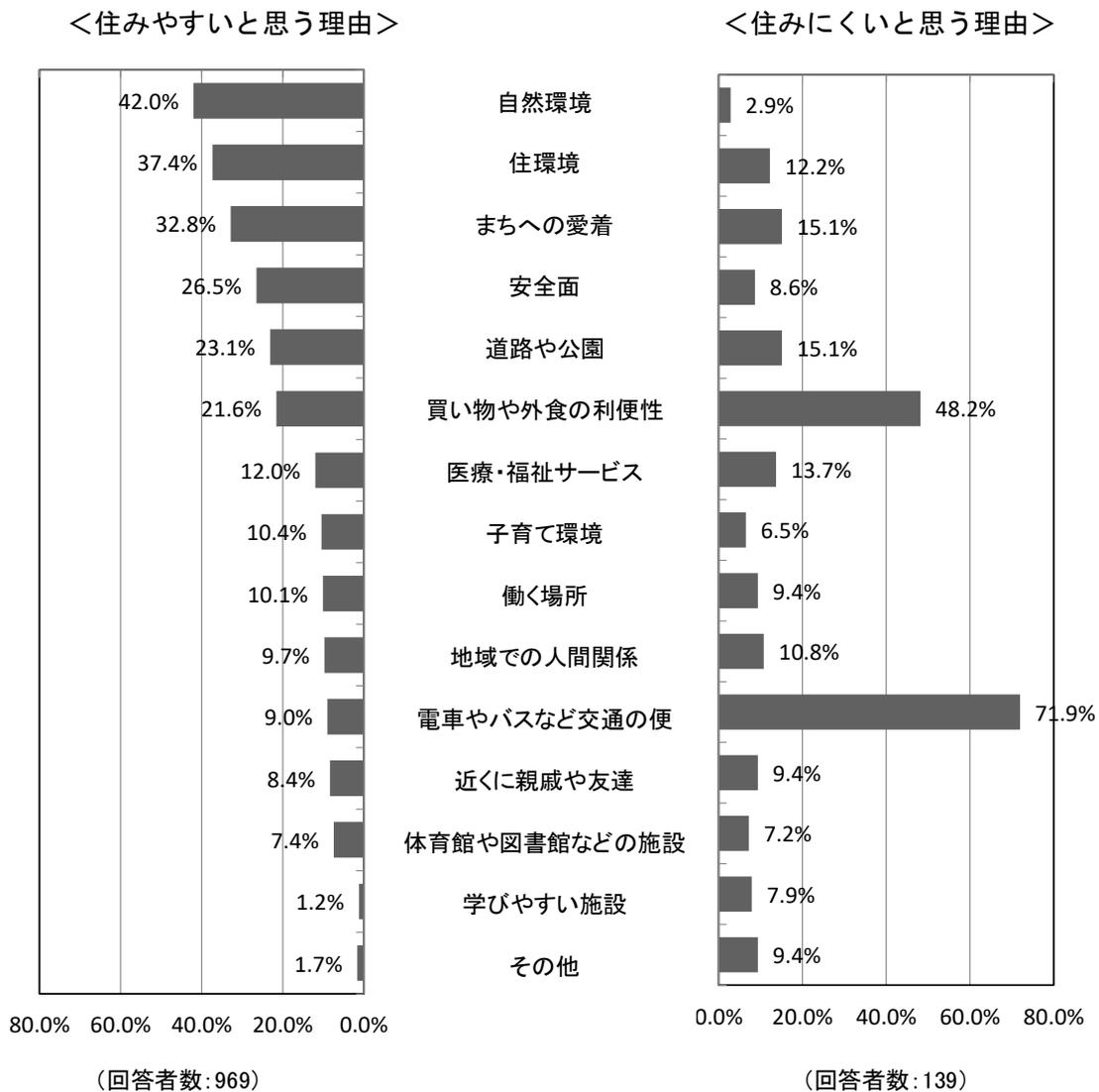
質問 「大変住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」とお答えになった方にお伺いします。住みやすいと思う理由を選び、3つまで番号に○をつけてください。

質問 「どちらかといえば住みにくい」または「大変住みにくい」とお答えになった方にお伺いします。住みにくいと思う理由を選び、3つまで番号に○をつけてください。

- 住みやすいと思う理由としては、「自然環境が良い」（42.0%）の割合が最も高く、次いで「住環境が良い」（37.4%）となっています。
- 住みにくいと思う理由としては、「電車やバスなど交通の便が悪い」（71.9%）の割合が最も高く、次いで「買い物や外食が不便」（48.2%）となっています。

【前回の結果との比較】

- 前回同様、「自然環境」や「住環境」が評価されている一方で、「電車やバスなど交通の便」、「買い物や外食の利便性」が評価されていない結果となっています。



<住みやすいと思う理由（上位5回答）>

■全体

全体(上位5回答) (回答者数:969)		
①	自然環境が良い	42.0%
②	住環境が良い	37.4%
③	住みなれていて愛着がある	32.8%
④	まちが安全・安心である	26.5%
⑤	道路や公園が整っている	23.1%

■居住地別

おかし地域(上位5回答) (回答者数:391)		
①	住環境が良い	48.3%
②	自然環境が良い	47.3%
③	道路や公園が整っている	36.3%
④	まちが安全・安心である	28.6%
⑤	住みなれていて愛着がある	23.3%

きたよし地域(上位5回答) (回答者数:125)		
①	自然環境が良い	44.8%
②	住みなれていて愛着がある	32.8%
③	買い物や外食が便利	32.0%
④	住環境が良い	30.4%
⑤	まちが安全・安心である	24.0%

なかよし地域(上位5回答) (回答者数:339)		
①	住みなれていて愛着がある	41.6%
②	自然環境が良い	35.4%
②	買い物や外食が便利	35.4%
④	住環境が良い	32.4%
⑤	まちが安全・安心である	24.8%

みなよし地域(上位5回答) (回答者数:111)		
①	自然環境が良い	41.4%
②	住みなれていて愛着がある	39.6%
③	まちが安全・安心である	27.9%
④	住環境が良い	22.5%
⑤	働く場所がある	18.9%

<住みにくいと思う理由（上位5回答）>

全体(上位5回答) (回答者数:139)		
①	電車やバスなど交通の便が悪い	71.9%
②	買い物や外食が不便	48.2%
③	道路や公園が整っていない	15.1%
③	愛着がない	15.1%
⑤	医療・福祉サービスが充実していない	13.7%

おかし地域(上位5回答) (回答者数:43)		
①	買い物や外食が不便	72.1%
②	電車やバスなど交通の便が悪い	51.2%
③	愛着がない	16.3%
④	医療・福祉サービスが充実していない	14.0%
⑤	道路や公園が整っていない	11.6%
⑤	体育館や図書館などの施設が充実していない	11.6%

きたよし地域(上位5回答) (回答者数:15)		
①	電車やバスなど交通の便が悪い	66.7%
②	買い物や外食が不便	40.0%
③	その他	26.7%
④	住環境が良くない	20.0%
④	道路や公園が整っていない	20.0%

なかよし地域(上位5回答) (回答者数:58)		
①	電車やバスなど交通の便が悪い	81.0%
②	買い物や外食が不便	32.8%
③	医療・福祉サービスが充実していない	19.0%
④	住環境が良くない	13.8%
④	親戚や友人があまり住んでいない	13.8%

みなよし地域(上位5回答) (回答者数:22)		
①	電車やバスなど交通の便が悪い	90.9%
②	買い物や外食が不便	50.0%
③	道路や公園が整っていない	27.3%
④	地域での人間関係が良くない	22.7%
⑤	学びやすい施設がそろっていない	18.2%
⑤	愛着がない	18.2%

- おかし地域では「道路・公園の整備」が評価されている一方、きたよし地域、みなよし地域では評価が低くなっています。
- 「交通の便」や「買い物や外食の利便性」については、全ての地域で総じて評価が低くなっています。「買い物や外食の利便性」は、おかし地域とみなよし地域で特に評価が低くなっています。
- みなよし地域においてのみ、「働く場所がある」が住みやすいと思う理由の上位5回答に含まれています。

②満足度と重要度

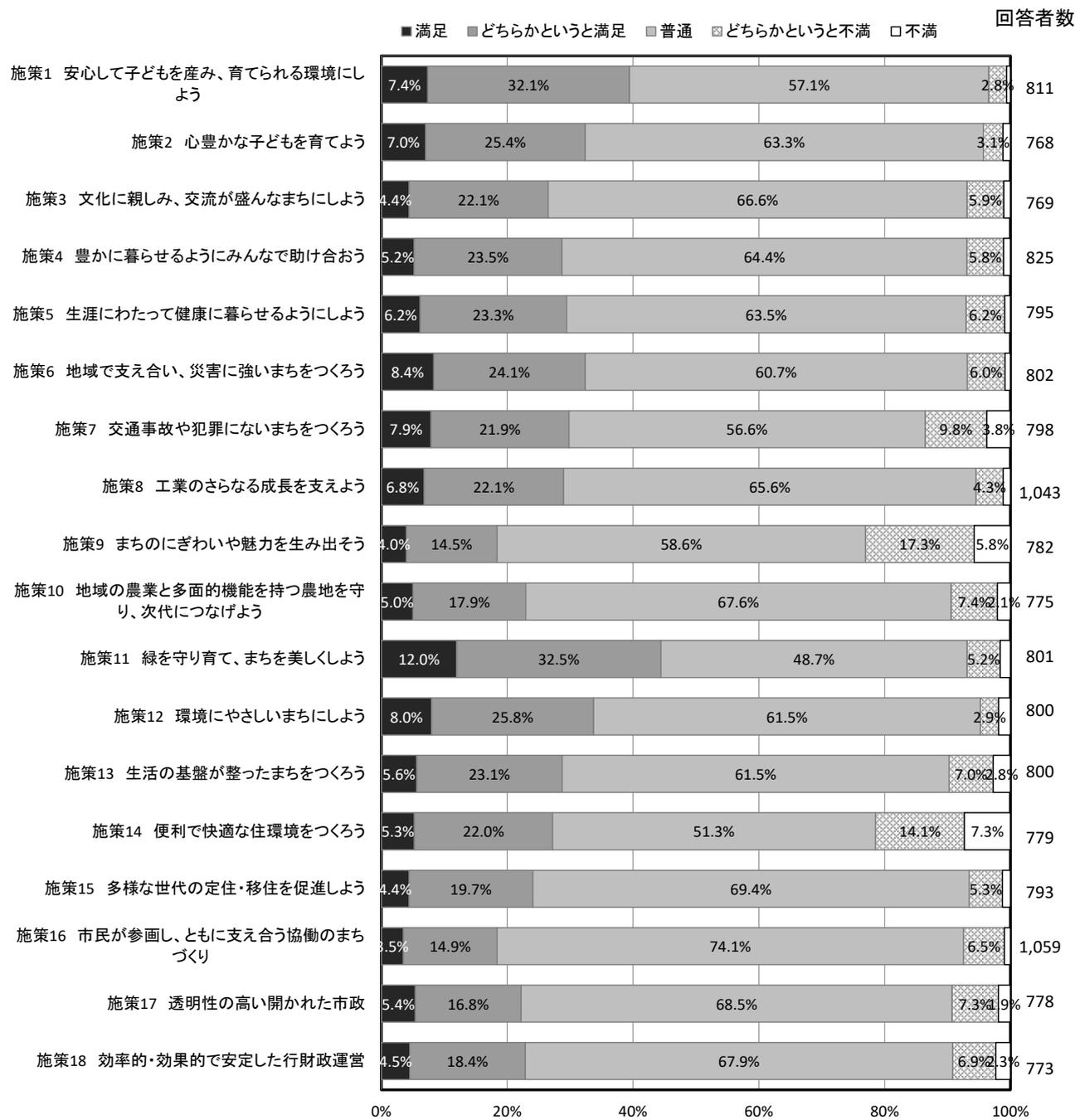
質問 みよし市が実施する取組について、あなたが現状でどれくらい満足しているか、また、あなたが今後どれくらい重要と考えているか、をお聞きします。

総合計画に定める次の施策及び取組分野について、「現状の満足度」、「今後の重要度」の回答欄からあなたの考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んで○をつけてください。

【施策の満足度と重要度】

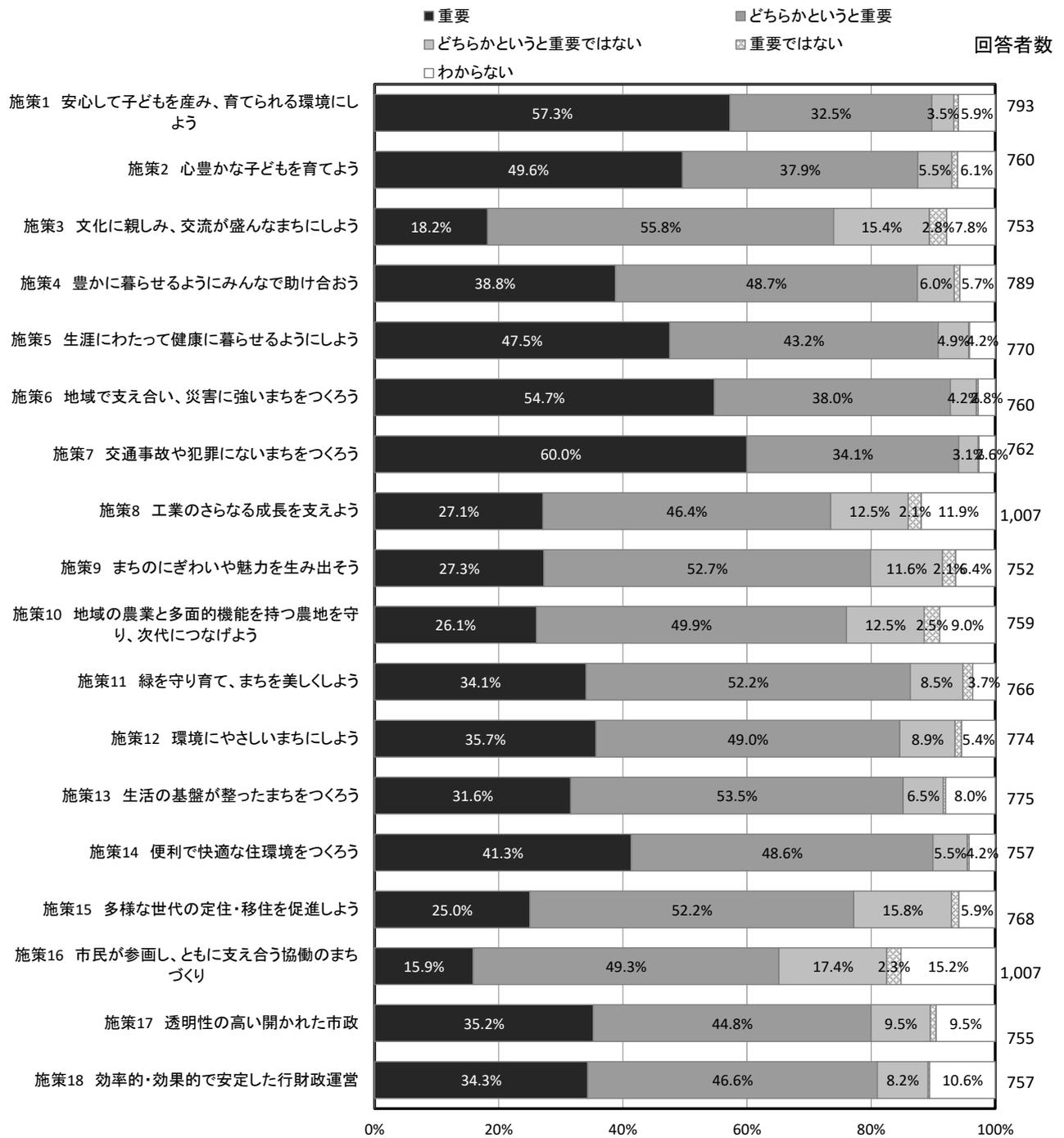
- 満足度については、「満足」と「どちらかという満足」を合わせた回答は、「施策11 緑を守り育て、まちを美しくしよう」で最も高く、次いで、「施策1 安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう」、「施策12 環境にやさしいまちにしよう」の順となっています。
- 一方、「不満」と「どちらかという不満」を合わせた回答は、「施策9 まちのにぎわいや魅力を生み出そう」で最も高くなっています。
- 重要度については、「重要」と「どちらかという重要」を合わせた回答は、「施策7 交通事故や犯罪にないまちをつくろう」で最も高く、次いで、「施策6 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう」、「施策5 生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう」の順となっています。
- 一方、「重要ではない」と「どちらかという不満」を合わせた回答は、「施策16 市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり」で最も高くなっています。
- 重要度について、「わからない」と回答した人の割合も「施策16 市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり」が最も高くなっています。

<施策の満足度>



※施策8、施策16は、施策に紐づけられる取組分野が一つであるため、それぞれの取組分野の満足度・重要度の結果を示しています。

<施策の重要度>



※施策8、施策16は、施策に紐づけられる取組分野が一つであるため、それぞれの取組分野の満足度・重要度の結果を示しています。

【取組分野の満足度と重要度】

- 取組分野の満足度割合が高いのは「消防」、「子育て支援」、「下水道」などとなっています。
- 重要度割合が高いのは、「防犯」、「交通安全」、「地域医療」、「防災・減災」など、安全・安心に暮らせるまちづくりに関連するものが上位に位置しています。
- 取組分野の満足度割合が低いのは「観光・魅力発信」、「公共交通」、「商業」などとなっています。
- 取組分野の重要度割合が低いのは「観光・魅力発信」、「広域交流」、「文化・芸術」などとなっています。

4 8 取組分野の満足度、重要度については次頁に一覧化しています。

<取組分野の満足度割合（上位 5 回答）>

取組分野	満足度割合※1	重要度割合※2
(20)消防	86.9%	94.0%
(1)子育て支援	86.9%	94.4%
(35)下水道	86.6%	91.1%
(29)緑のまちづくり	84.3%	88.9%
(23)工業	84.1%	83.4%

<取組分野の重要度割合（上位 5 回答）>

取組分野	満足度割合※1	重要度割合※2
(22)防犯	65.9%	96.9%
(21)交通安全	68.8%	96.7%
(15)地域医療	68.9%	96.0%
(19)防災・減災	77.0%	95.9%
(4)小中学校教育	83.3%	94.8%

<取組分野の満足度割合（下位 5 回答）>

取組分野	満足度割合※1	重要度割合※2
(33)土地利用	50.8%	86.0%
(26)地域活力	41.3%	82.1%
(24)商業	40.5%	89.1%
(36)公共交通	34.5%	94.4%
(25)観光・魅力発信	26.3%	71.9%

<取組分野の重要度割合（下位 5 回答）>

取組分野	満足度割合※1	重要度割合※2
(10)男女共同参画	66.0%	76.1%
(9)多文化共生	63.4%	74.8%
(7)文化・芸術	69.5%	72.6%
(8)広域交流	74.6%	72.2%
(25)観光・魅力発信	26.3%	71.9%

※1 満足度割合=(満足+どちらかという満足)÷(満足+どちらかという満足+どちらかという不満+不満)

※2 重要度割合=(重要+どちらかという重要)÷(重要+どちらかという重要+どちらかという重要ではない+重要ではない)

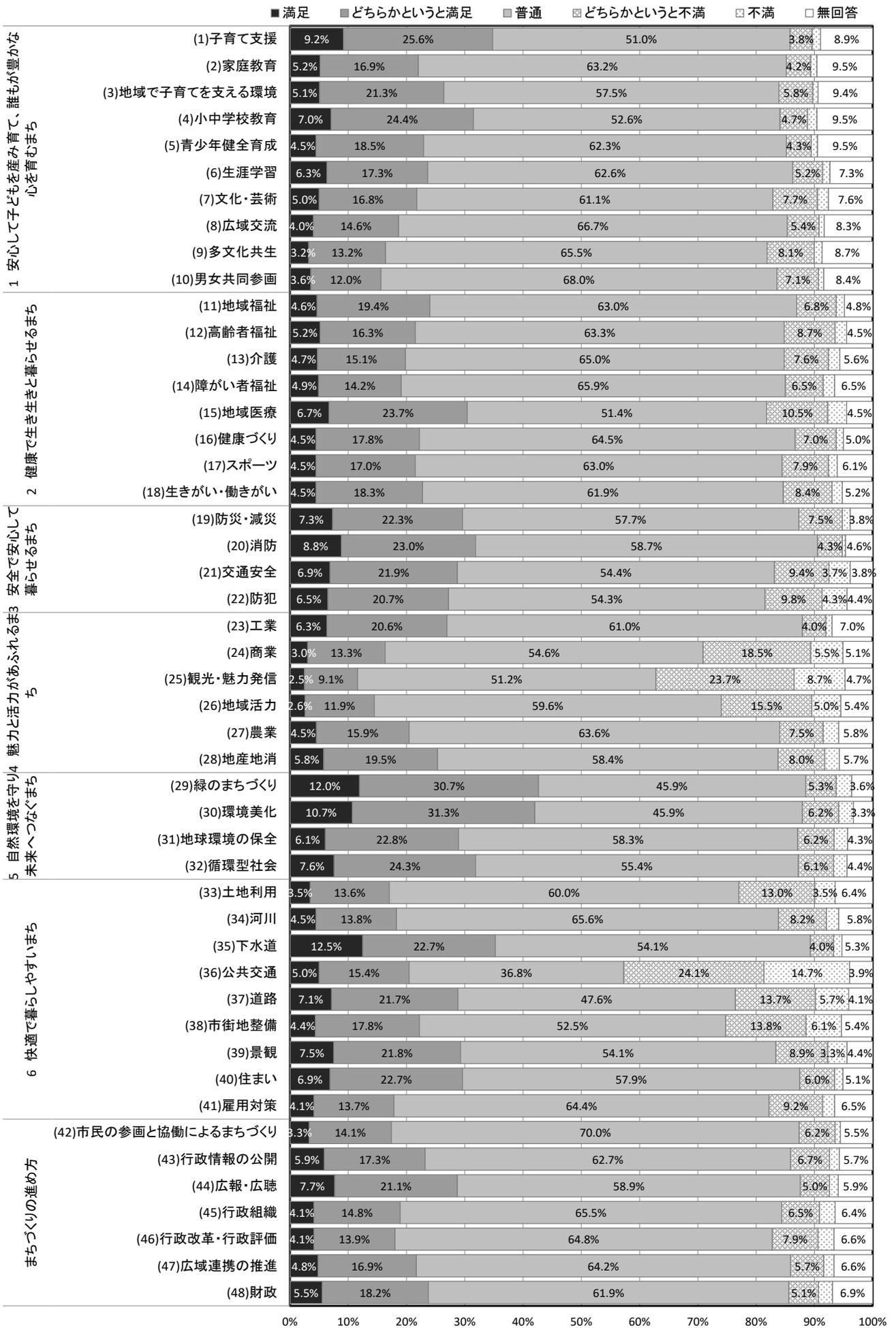
<取組分野の満足度割合・重要度割合（全体）>

取組分野	満足度割合 ^{※1}	重要度割合 ^{※2}
(1)子育て支援	86.9%	94.4%
(2)家庭教育	80.7%	90.3%
(3)地域で子育てを支える環境	79.8%	93.1%
(4)小中学校教育	83.3%	94.8%
(5)青少年健全育成	81.1%	90.1%
(6)生涯学習	78.6%	79.9%
(7)文化・芸術	69.5%	72.6%
(8)広域交流	74.6%	72.2%
(9)多文化共生	63.4%	74.8%
(10)男女共同参画	66.0%	76.1%
(11)地域福祉	74.5%	92.7%
(12)高齢者福祉	66.8%	93.6%
(13)介護	67.5%	94.5%
(14)障がい者福祉	69.3%	93.5%
(15)地域医療	68.9%	96.0%
(16)健康づくり	72.8%	88.1%
(17)スポーツ	69.5%	77.1%
(18)生きがい・働きがい	69.1%	90.5%
(19)防災・減災	77.0%	95.9%
(20)消防	86.9%	94.0%
(21)交通安全	68.8%	96.7%
(22)防犯	65.9%	96.9%
(23)工業	84.1%	83.4%
(24)商業	40.5%	89.1%
(25)観光・魅力発信	26.3%	71.9%
(26)地域活力	41.3%	82.1%
(27)農業	66.8%	83.9%
(28)地産地消	70.6%	85.1%
(29)緑のまちづくり	84.3%	88.9%
(30)環境美化	82.8%	92.1%
(31)地球環境の保全	77.1%	89.3%
(32)循環型社会	79.2%	89.0%
(33)土地利用	50.8%	86.0%
(34)河川	63.9%	83.4%
(35)下水道	86.6%	91.1%
(36)公共交通	34.5%	94.4%
(37)道路	59.7%	92.4%
(38)市街地整備	52.8%	86.9%
(39)景観	70.5%	79.5%
(40)住まい	80.0%	87.0%
(41)雇用対策	61.3%	88.3%
(42)市民の参画と協働によるまちづくり	71.2%	76.8%
(43)行政情報の公開	73.4%	86.6%
(44)広報・広聴	81.5%	82.5%
(45)行政組織	67.3%	86.0%
(46)行政改革・行政評価	62.9%	87.3%
(47)広域連携の推進	74.3%	85.9%
(48)財政	76.0%	92.0%

※1 満足度割合=(満足+どちらかという満足)÷(満足+どちらかという満足+どちらかという不満+不満)

※2 重要度割合=(重要+どちらかという重要)÷(重要+どちらかという重要+どちらかという重要ではない+重要ではない)

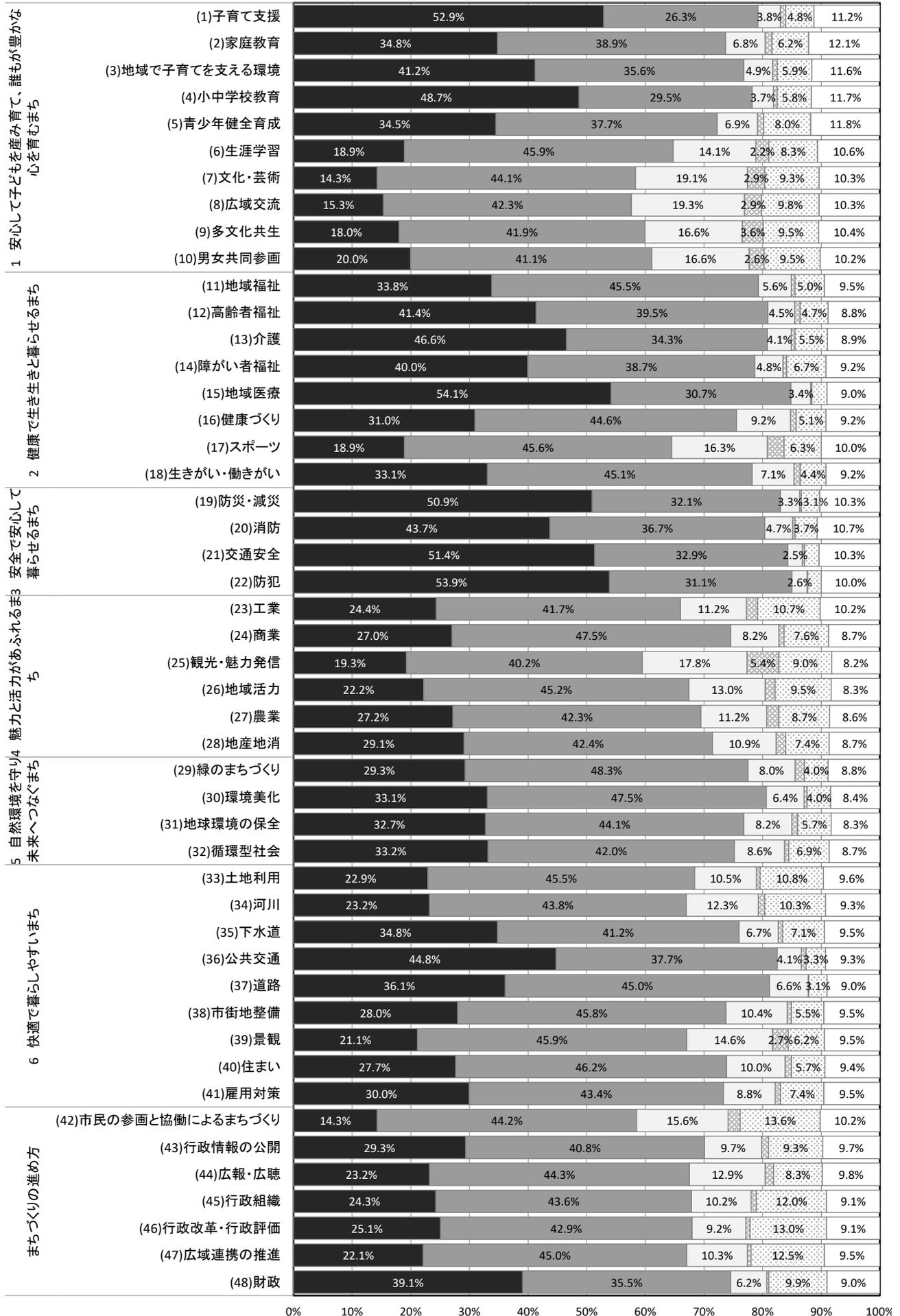
<取組分野の満足度（全体）>



(回答者数: 1,121)

<取組分野の重要度（全体）>

■重要 ■どちらかという重要 □どちらかという重要ではない ▨重要ではない □わからない □無回答



(回答者数:1,121)

②満足度指数と重要度指数

取組に対する満足度と重要度についての評価を一層明確化するため、以下の算出方法により各取組分野の「満足度指数」及び「重要度指数」を設定します。満足度指数を X 軸、重要度指数を Y 軸とするグラフ上に各取組分野の指数を描画します。

【満足度指数・重要度指数の算出方法】

$$\text{満足度指数} = \text{満足}(\%)^{*1} \times 100 + \text{どちらかというと満足}(\%) \times 66.7 + \text{普通}(\%) \times 50.0 \\ + \text{どちらかというと不満}(\%) \times 33.3 + \text{不満} \times 0$$

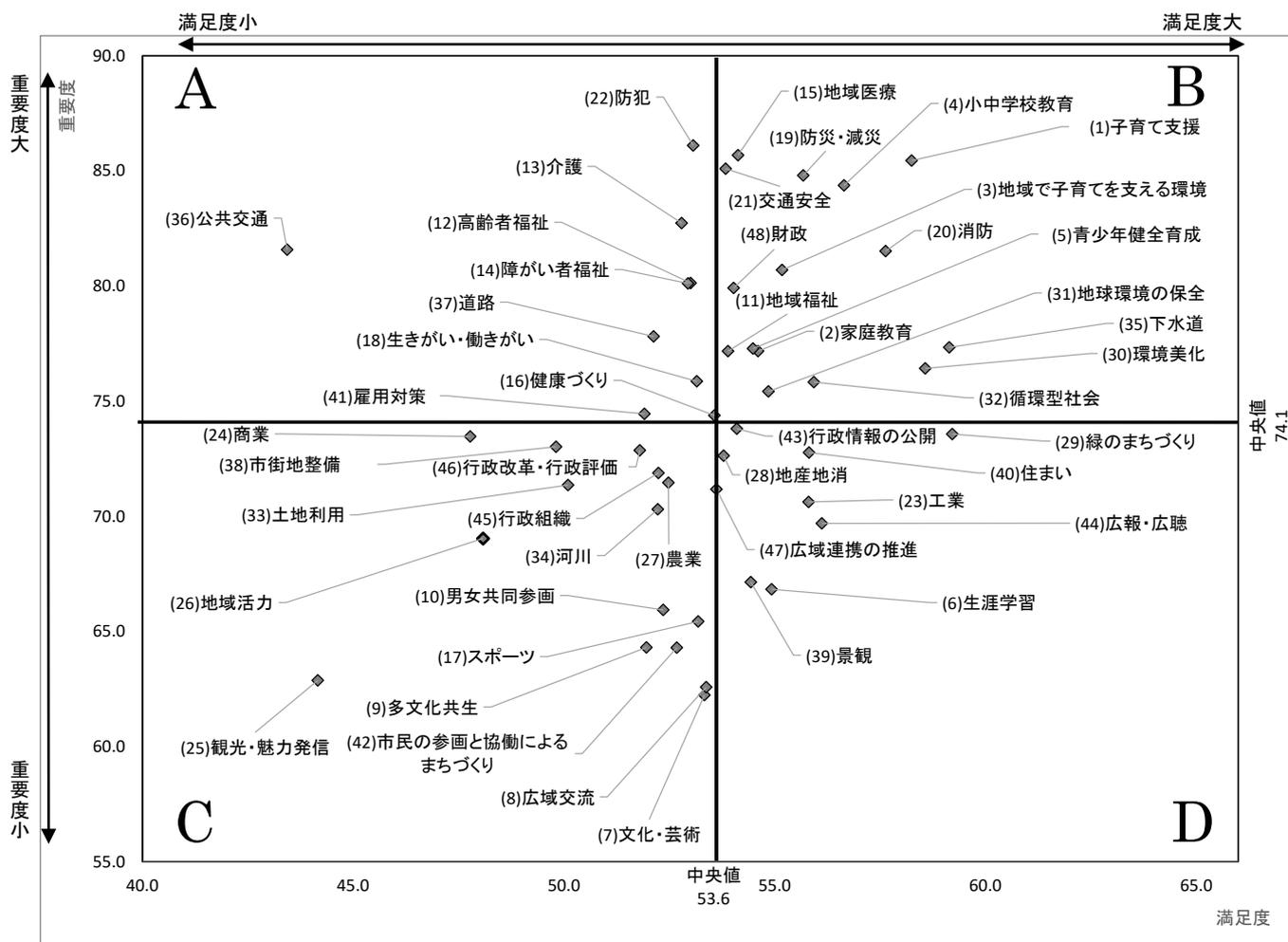
$$\text{重要度指数} = \text{重要}(\%)^{*2} \times 100 + \text{どちらかというと重要}(\%) \times 66.7 \\ + \text{どちらかというと重要でない}(\%) \times 33.3 + \text{重要でない}(\%) \times 0$$

※1 満足(%) : 「満足」と回答した人の回答率。ただし、「無回答」を除く合計サンプル数を分母とする。

※2 重要(%) : 「重要」と回答した人の回答率。ただし、「わからない」「無回答」を除く合計サンプル数を分母とする。

【取組分野の満足度指数と重要度指数】

- 回答の集計データをもとに満足度指数及び重要度指数を算出したところ、満足度が低く、重要度の高い施策（下図のAのエリア）としては、主に福祉・介護・道路・交通面に関するものが多くなっています。中でも「公共交通の充実」の満足度が最も低くなっています。



【区分】

- A: 最も課題のある施策であり重点的に推進すべき
- B: 継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進すべき
- C: 課題のある施策であり必要性を検証し施策を推進すべき
- D: 一定の成果が得られており、継続の必要性を検証すべき

<取組の満足度指数・重要度指数>

区分	取組分野	満足度		重要度	
		満足度指数	順位	重要度指数	順位
A ①満足度:中央値未満 重要度:中央値以上 9施策	(12)高齢者福祉	53.0	31	80.1	11
	(13)介護	52.8	33	82.7	7
	(14)障がい者福祉	52.9	32	80.1	12
	(16)健康づくり	53.6	25	74.4	24
	(18)生きがい・働きがい	53.2	29	75.9	20
	(22)防犯	53.1	30	86.1	1
	(36)公共交通	43.4	48	81.6	8
	(37)道路	52.1	39	77.8	14
	(41)雇用対策	51.9	41	74.4	23
B ②満足度:中央値以上 重要度:中央値以上 15施策	(1)子育て支援	58.3	4	85.4	3
	(2)家庭教育	54.6	15	77.2	18
	(3)地域で子育てを支える環境	55.2	12	80.7	10
	(4)小中学校教育	56.6	6	84.4	6
	(5)青少年健全育成	54.5	16	77.3	16
	(11)地域福祉	53.9	21	77.2	17
	(15)地域医療	54.1	18	85.7	2
	(19)防災・減災	55.7	11	84.8	5
	(20)消防	57.6	5	81.5	9
	(21)交通安全	53.8	22	85.1	4
	(30)環境美化	58.6	3	76.4	19
	(31)地球環境の保全	54.9	14	75.4	22
	(32)循環型社会	55.9	8	75.8	21
(35)下水道	59.1	2	77.3	15	
(48)財政	54.0	20	79.9	13	
C ③満足度:中央値未満 重要度:中央値未満 15施策	(7)文化・芸術	53.3	27	62.2	48
	(8)広域交流	53.4	26	62.6	47
	(9)多文化共生	52.0	40	64.3	44
	(10)男女共同参画	52.4	36	65.9	42
	(17)スポーツ	53.2	28	65.4	43
	(24)商業	47.8	46	73.5	27
	(25)観光・魅力発信	44.2	47	62.9	46
	(26)地域活力	48.1	45	69.0	39
	(27)農業	52.5	35	71.5	33
	(33)土地利用	50.1	43	71.4	34
	(34)河川	52.2	38	70.3	37
	(38)市街地整備	49.8	44	73.0	28
	(42)市民の参画と協働によるまちづくり	52.7	34	64.3	45
	(45)行政組織	52.2	37	71.9	32
	(46)行政改革・行政評価	51.8	42	72.9	29
D ④満足度:中央値以上 重要度:中央値未満 9施策	(6)生涯学習	54.9	13	66.8	41
	(23)工業	55.8	10	70.6	36
	(28)地産地消	53.8	23	72.6	31
	(29)緑のまちづくり	59.2	1	73.6	26
	(39)景観	54.4	17	67.1	40
	(40)住まい	55.8	9	72.8	30
	(43)行政情報の公開	54.1	19	73.8	25
	(44)広報・広聴	56.1	7	69.7	38
(47)広域連携の推進	53.6	24	71.2	35	

②「こんなまちにしたい」という願い

質問 これからのみよし市を「こんなまちにしたい」というあなたの願いを自由にお書きください。

<主な回答>

分類	回答
①子育て・教育・青少年	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる場所がたくさんあるまちになったらいい(30～39歳/おおよし) ・共働きでも子育てしやすい環境(18～29歳/なかよし) ・ネウボラが市民全員に知られるまち(60～64歳/なかよし) ・子育てのしやすさ(医療費、公園環境、制度)が整っていてほしい(18～29歳/きたよし) ・子育てしている人が孤立しない。保護者だけでなく、みんなで子育てするんだという考えを持ったまち(40～49歳/なかよし) ・いじめ対策、不登校者対策の強化(75歳以上/おおよし) ・IT、語学に特化した教育の充実(40～49歳/みなよし) ・子どもが教育を受ける際、色々な選択肢の中から選べるようになるといい(40～49歳/なかよし) ・子どもがのびのびと成長できるまちにしたい(40～49歳/きたよし) ・子どもたちにとって「ここで育つてよかった」と思えるまちにしたい(40～49歳/なかよし)
②生涯学習・文化・芸術・交流・男女共同参画	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習などで、年齢は関係なく、新しいことを学ぶ楽しさをもっと増やしてほしい(50～59歳/おおよし) ・得意なことは教え、苦手なことは教わるギブアンドテイク的な安価の生涯学習システム(50～59歳/みなよし) ・年齢・性別・国籍関係なく、文化に触れることができるまち(30～39歳/きたよし) ・異なる年齢、異なる性別、国の違いがなく交流できるまち(60～64歳/なかよし) ・自由な表現を楽しみ、みんなで喜びを共感できる(30～39歳/なかよし)
③福祉・介護・医療・健康・生きがい	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの施設で幼児からお年寄りまで一緒に生活できる場所があったらいいです(70～74歳/なかよし) ・身体が不自由になっても、不自由なく安心して住めるまち(30～39歳/きたよし) ・介護される側も介護する側も笑顔で毎日暮らせるサポート体制が構築されたまちにしたい(40～49歳/なかよし) ・介護のために退職しなくても良いまちになれば(40～49歳/きたよし) ・北部の医療の充実に取り組む(40～49歳/おおよし) ・市民が気軽に利用できるスポーツ施設、健康体操のあるまち(50～59歳/みなよし) ・高齢者も趣味を持ち、元気に暮せるまちにしたい(70～74歳/きたよし)
④防災・交通・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨のとき境川の氾濫が心配です(木草汚泥が多く流れが悪い)。これからも水害のないまちになったらいい(75歳以上/なかよし) ・成果が出る交通安全教室を行い、事故のないまちに(65～69歳/なかよし) ・女性が夜道を歩いても不安じゃない、街灯やパトロールが多いまち。災害が起きたとき、町の人々が何をすれば命が助かるか、行動できるまち、多くの命が助かるまち(18～29歳/おおよし) ・一人暮らしの方が孤立しないように声掛けできるまちにしたい(65～69歳/おおよし)

分類	回答
⑤工業・商業・農業・観光	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代産業の誘致と育成、働く場の確保(50～59 歳/おかよし) ・せっかくならみよしで買い物してみよしに貢献したい(30～39 歳/みなよし) ・魅力的なお店(特に飲食店)が増えると、活気のあるまちになると思う(40～49 歳/きたよし) ・学生が学校の帰りに遊べる商業施設があると良いのではないかと(18～29 歳/おかよし) ・農業を大切にすまち。地産地消を推進するまち。地産地消はCO₂削減にも役立つので(40～49 歳/なかよし) ・このまちならではの観光の強みを持ち、市民が老若男女問わず誇りに思えるまちにしたい(60～64 歳/おかよし)
⑥自然環境・地球環境・緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・建物と自然が共生するまちづくりをお願いしたいです(18～29 歳/おかよし) ・カーボン・ニュートラルの推進・実現(65～69 歳/おかよし) ・みよし池はとてもいい所だと思う。若者や老人を歩いたり、ランニングできたりするのでこれからも大切に守ってほしい(40～49 歳/なかよし) ・リサイクル分別によりごみの削減、資源を大切にしたい(65～69 歳/おかよし) ・子どもがたくさん緑にふれあえる。そんなまちでいてほしい(30～39 歳/なかよし)
⑦公共交通・河川・道路・景観・住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納してからの生活が不安です。気軽に使える乗り合いタクシーを検討してほしい(50～59 歳/みなよし) ・赤池や三好ヶ丘までの駅に簡単に行ける手段がほしい(30～39 歳/なかよし) ・高齢の方、車の運転をしない方でも、気軽に出かけられるようにしたい(60～64 歳/おかよし) ・境川上流の美化対策(65～69 歳/きたよし) ・安全に登下校できる通学路の整備(65～69 歳/みなよし) ・景観、道路の環境が損なうことのないようなまちにしたい(30～39 歳/なかよし) ・空き家・空き地が管理・整備され、子どもにとって危険な場所の少ないまち(30～39 歳/きたよし)
⑧市民参画・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ、どこでも市民は自由に意見を発信できるまち(60～64 歳/おかよし) ・市民で取り組めることが増えるとよい(18～29 歳/なかよし) ・地域で気軽に参加できるイベント企画(50～59 歳/きたよし) ・地域交流を多くしたい(75 歳以上/みなよし)